



KEIICHIRO SHIBUYA

ANDROID

OPERA

MIRROR

— Deconstruction and Rebirth — 解体と再生 —

2026.5.16 SAT

OPEN 13:00 START 14:00 FESTIVAL HALL, OSAKA

人間と機械がどこまで交わるのか？ —
生と死の境界を描く世界で唯一のアンドロイド・オペラ、大阪に初登場。

第64回大阪国際フェスティバル2026

渋谷慶一郎 アンドロイド・オペラ

「MIRROR」

— Deconstruction and Rebirth — 解体と再生 —

チケット料金 (税込み・全席指定) : S席 12,000円、A席 9,000円、B席 6,000円、
SS席 15,000円、BOX席 18,000円、バルコニー BOX席 (S席2枚セット) 24,000円

2026年1月24日(土) 10:00 一般発売

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00 ~ 18:00)

*窓口販売は1/25(日) ~

フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp>

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード : 312-818)

主催 : 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、関西テレビ放送、ぴあ、フェスティバルホール
制作 : ATAK

協賛 : 関電工、ダイキン工業、高砂熱学工業、竹中工務店

2026年5月16日(土) 14:00開演 / 13:00開場

会場 : フェスティバルホール (大阪市北区中之島2-3-18)

出演者・アーティスト

渋谷慶一郎 作曲、ピアノ、エレクトロニクス

アンドロイド・マリア ヴォーカル

高野山声明

大阪フィルハーモニー交響楽団 ゲストコンサートマスター : 成田達輝

今井慎太郎 アンドロイド・プログラミング

ジュスティーンヌ・エマール 映像

ZAK 音響

上田剛 照明





KEIICHIRO SHIBUYA

ANDROID OPERA MIRROR

— Deconstruction and Rebirth — 解体と再生 —

第64回大阪国際フェスティバル2026

渋谷慶一郎 アンドロイド・オペラ「MIRROR」

— Deconstruction and Rebirth — 解体と再生 —

AI搭載のアンドロイドが歌い、生のオーケストラ、ピアノ、電子音、映像、1200年の歴史を持つ仏教音楽・声明が融合する革新的なオペラ作品が、ドバイ万博（2022年）、パリ・シャトレ座（2023年）、2025年11月の東京・サントリーホール公演を経て、大阪に初登場します。

人間とテクノロジー、東洋と西洋、伝統と革新、生と死といった境界や対立を溶かし、新たな希望と調和のモデルを提示します。

舞台の中心には渋谷の亡き妻マリアをモデルとして2025年に製作された最新の人型ロボット「アンドロイド・マリア」が登場します。ほかの出演は渋谷慶一郎（ピアノ・エレクトロニクス）、大阪フィルハーモニー交響楽団（ゲストコンサートマスター：成田達輝）、高野山僧侶による声明。大型スクリーンに投影される映像は、大阪・関西万博フランス館の芸術監督を務めたビジュアルアーティスト、ジュスティーン・エマールが担当します。アンドロイド・プログラミングはコンピュータ音楽家の今井慎太郎が手がけます。

また、音楽的演出はステージ上にとどまらず、客席側にもオーケストラ奏者や声明が配置され、空間そのものが楽器となるような、ホール全体を使った立体的な音楽体験が展開されます。音響は日本を代表するエンジニア／アーティストのZAKが担当します。

主催：朝日新聞文化財団、朝日新聞社、関西テレビ放送、びあ、フェスティバルホール

制作：ATAK

協賛：関電工、ダイキン工業、高砂熱学工業、竹中工務店

2026年1月24日（土）10:00 一般発売

チケット料金（税込み・全席指定）：S席 12,000円、A席 9,000円、B席 6,000円、SS席 15,000円、BOX席 18,000円、バルコニー BOX席（S席2枚セット）24,000円
*バルコニー BOX席はフェスティバルホール チケットセンター（電話・窓口）のみで販売

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221（10:00～18:00）

*窓口販売は1/25（日）～（残席がある場合のみ）

フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp>

チケットぴあ <https://t.pia.jp>（Pコード：312-818）

ローソンチケット <https://l-tike.com/>（Lコード：52664）

CN プレイガイド 0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/>

e+（イープラス）<https://eplus.jp/>

セブンチケット <https://7ticket.jp/sc/21nh>



お問い合わせ：

フェスティバルホール

06-6231-2221（10:00～18:00）



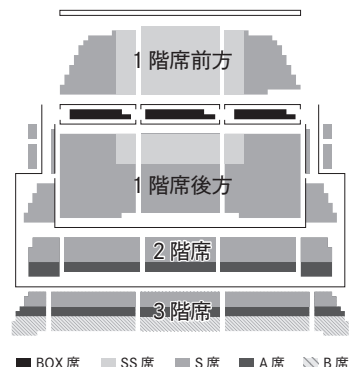
渋谷慶一郎 KEIICHIRO SHIBUYA

1973年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。2002年に音楽レーベルATAKを設立。作品は先鋭的な電子音楽作品からピアノソロ、オペラ、映画音楽、サウンド・インスタレーションまで多岐にわたり、東京・パリを拠点に活動を行う。2020年、草薙剛主演・内田英治監督の映画「ミッドナイトスワン」の音楽を担当、第30回日本映画批評家大賞、映画音楽賞受賞。渋谷の創作はピアノソロ作品「formaria」（2008）を転換点とし、初音ミク主演による人間不在のボーカロイド・オペラ「THE END」（2012）を経て、2018年に始まる「アンドロイド・オペラ」へ発展してきた。その到達点が『「MIRROR」— Deconstruction and Rebirth— 解体と再生—』となる。



アンドロイド・マリア ANDROID MARIA

渋谷慶一郎が数多くの研究者やエンジニアと構想・製作し、2025年11月に東京・サントリーホール公演でデビューを果たしたばかりのアンドロイド。最新のAIと渋谷が10年近く取り組んできたアンドロイド・オペラの経験を元に、より自由な身体性と幅広い表現力を備えた「世界一美しいアンドロイド」を目指して開発された。53もの関節をモーター駆動化することで滑らかで有機的な動きができるほか、内蔵カメラとマイクで常に人間の存在を意識し、多言語での対話やパフォーマンスが可能。その場で鳴っている音に対して体を動かし、即興で歌うこともできる。顔は渋谷の亡くなった妻マリアをモデルとし、身体の造形は古今の女神像や菩薩像を学習したAIによって作られた。地下茎のようなチューブで覆われた下半身は、大地とのつながりや生命感、存在感を想起させることを意図する。



*やむを得ない事情により出演者等が一部変更になる場合があります。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。*未就学児の入場はご遠慮ください。